

令和8年4月採用 公益財団法人わかやま産業振興財団
 「和歌山県よろず支援拠点生産性向上支援センター
 生産性向上支援サポーター(週2回程度業務)」受験申込書

受験番号	*
------	---

(* 欄には何も記入しないでください。)

氏名(ふりがな)	生年月日	(写真欄) 縦4cm横3cm 胸から上、脱帽、 正面向で3か月 以内に撮影した もの。 写真の裏に氏名 を記入後貼付。
	年 月 日生 (満 歳)	
現住所 〒 住所 電話		
連絡先 〒 住所 電話 E-mail		
勤務先 〒 住所 会社名	電話	
学歴(高等学校卒業以降について、学部・学科及び修学区分まで記入してください。)		
年 月		
主な職歴(会社名・官公庁名・役職名・職務内容等)		
年 月		
資格・免許・特技等(取得年も併せて記載してください。) ※ 自動車運転免許は、必ず記載してください。		

(注) 欄が足りない場合や学歴・職歴の詳細については、別紙(様式任意)に記入し、添付してください。
 業績の詳細については様式2に記入してください。

生産性向上支援サポーター応募申請書(週2回程度業務)

本様式は、生産性向上支援サポーター応募者自身に記入していただく様式です。適宜行数を増やして頂いても構いません。

(1) 生産性向上支援サポーターへの応募の動機について

和歌山県よろず支援拠点生産性向上支援センター 生産性向上支援サポーターに応募された理由やきっかけ、志望動機についてご記入ください。

(2) 企業の現場で生産性向上に取り組んだ経験や支援経験のある事業者(匿名可)について、代表的な事例(実績等)を最大3つまで、記載してください。実績がない場合は、「なし」と記入してください。

【事例1】

- ・事業者名(業種):
- ・売上規模: 千円～ 千円
- ・事業者の従業員数の規模: 人～ 人:
- ・支援した内容

【事例2】

- ・事業者(業種):
- ・売上規模: 千円～ 千円
- ・事業者の従業員数の規模: 人～ 人:
- ・支援した内容

【事例3】

- ・事業者名(業種):
- ・事業者の従業員数の規模: 人～ 人:
- ・売上規模: 千円～ 千円
- ・支援した内容

(3)ご自身が支援しうると考える業種を選択してください。(複数選択可)

・中小企業診断士等、業種を問わず中小企業支援全般が強みである場合は、⑩を選択の上、特に支援が得意な業種を①～⑨から選択してください。(記入のない場合には、「失格」となりますので、ご注意ください。)

・事業会社出身等、これまでに中小企業支援の経験がない場合にも、ご自身の知見や今後の学習等により支援が可能と思われる業種を幅広く選択ください。(「建設業・警備業・ビルメンテナンス業」は、不定期業務の公募となりますので、ご注意ください。)

<input type="checkbox"/>	⑩全般
<input type="checkbox"/>	①飲食業
<input type="checkbox"/>	②宿泊業
<input type="checkbox"/>	③小売業
<input type="checkbox"/>	④生活関連サービス業(理容業、美容業、クリーニング業、冠婚葬祭業)
<input type="checkbox"/>	⑤その他サービス業(自動車整備業)
<input type="checkbox"/>	⑥製造業(中小製造業、食品製造業)
<input type="checkbox"/>	⑦運輸業

・採用後、ここで選択した業種以外の支援も対応いただく場合があります。

(4)採用時に実施できるセミナーや研修について

生産性向上支援サポーターとして採用されたときに実施できるセミナー・研修についてです。

直近3年以内に講師をされたセミナー・研修の実績についてご記入ください。実績がない場合は、「なし」と記入してください。

①実施可能なセミナー等：

②直近3年以内のセミナー等の実績(年次、テーマ、タイトル、主催者など)をご記入ください。

③参加者の感想や主催者の評価はどのようなものでしたか。アンケート結果や口頭での評価など、把握している範囲でご記入ください。

(5) 公的支援としての「寄り添い方」について

和歌山県よろず支援拠点とは、「中小企業の経営者を一人にしない」という理念のもと、経営者の声に丁寧に耳を傾け、悩みの本質をともに考え、最適な支援策を提案する公的な経営相談所です。

何度でも無料で相談できるという制度の性質上、支援者には、成果や報酬にかかわらず、目の前の相談者に誠実に寄り添い続ける姿勢が求められます。

この理念を踏まえ、民間支援との違いをどう捉えているか、また、ご自身がどのような姿勢で公的支援に関わろうとされているかをご記入ください。

相談者との関係の中で「寄り添う支援」として評価された経験があれば、あわせてご記入ください。

(6) 他の支援機関等との連携のあり方について

和歌山県よろず支援拠点は、経済産業省中小企業庁の方針に基づき、公益財団法人 わかやま産業振興財団を中心としながら、和歌山県内の多様な支援機関・金融機関等が連携し、経営課題の解決を図る事業です。

他の支援機関等とどのような関係性や連携のあり方が望ましいと考えるか、ご記入ください。

また、連携したことのある支援機関等があれば、差し支えない範囲で名称もご記入ください

(様式3)

令和 年 月 日

公益財団法人 わかやま産業振興財団
理事長 下 宏 様

申請者住所

申請者氏名

印

暴力団排除に関する誓約書

中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業(よろず支援拠点生産性向上支援センター事業)における「生産性向上支援サポーター」に応募するにあたり、当社(個人である場合は私、団体である場合は当団体)は、以下のいずれにも該当しません。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、当方が不利益を被ることとなっても、異議は一切申し立てません。

- 1 法人等(個人、法人又は団体をいう。)が、暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。)であるとき又は法人等の役員等(個人である場合はその者、法人である場合は役員又は支店若しくは営業所(常時契約を締結する事務所をいう。)の代表者、団体である場合は代表者、理事等、その他経営に実質的に関与している者をいう。以下同じ。)が、暴力団員(同法第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)であるとき
- 2 役員等が、自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしているとき
- 3 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して、資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的あるいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与しているとき
- 4 役員等が、暴力団又は暴力団員であることを知りながらこれと社会的に非難されるべき関係を有しているとき

<受験申込書記入要領>

- 1 * 欄を除くすべての欄に、正しく記入してください。記載事項に不備・不正があると、受験資格を失うことがあります。
- 2 原則として、パソコンを使って記入してください。パソコンを使わない場合は、黒のインク又は黒ボールペンを用い、自筆で丁寧に、楷書で記入してください。

数字は算用数字を用い、ふりがなは、ひらがなで記入してください。

- 3 連絡先欄については、現住所以外に連絡を希望する場合は、その場所等を記入してください。
- 4 勤務先欄については、現在就労している勤務先を記入してください。

5 学歴欄の記入例

平成16	3	○県立 ○ 高等学校 卒業
平成20	3	△大学 △ 学部 卒業
平成22	3	□大学大学院 □専攻科 修了

- 6 主な職歴欄は、今までの主な職歴(自営業を含み、短期アルバイトは除く。)について職歴順に記入してください。

主な職歴欄の記入例

平成22	4	○株式会社△部△課 △業務に従事
令和7	3	○株式会社を退職し現在に至る

- 7 資格・免許・特技等欄には、その名称及び取得年を記入し、取得見込みの資格等があれば、併せて記入してください。

自動車運転免許については、必ず記入してください。